

# 近江八幡市ふるさと学習全体計画

基本 理念	「子ども」が輝き「人」が学び合い ふるさとに愛着と誇りをもち 躍動する元気なまち 近江八幡
	～元気と笑顔の合言葉 「早寝・早起き・あき・し・ど・う」～

第2期市 教育振興 基本計画	目標2 ふるさとに愛着と誇りをもち、地域や社会に貢献できる人を育成します。
	<b>施策 8 地域の歴史や伝統、文化を学ぶふるさと学習の推進</b> 【取組 8-1】時代につながるふるさと学習の推進【取組 8-2】交流を通してふるさとのよさを学ぶ活動の推進 【取組 8-3】学校給食における「はちまんの日」の実施 【取組 8-4】地域とともに体験的に学ぶ環境学習の推進〈後掲〉【取組 8-5】地域資料の活用と充実〈後掲〉
	<b>施策 9 豊かな自然や人々の生活から体験的に学ぶ環境学習の推進</b> 【取組 9-1】地域とともに体験的に学ぶ環境学習の推進【取組 9-2】身近な自然に触れる機会の充実 【取組 9-3】交流を通してふるさとのよさを学ぶ活動の推進〈再掲〉
	<b>施策 10 社会的・職業的自立につながるキャリア教育の推進</b> 【取組 10-1】社会的・職業的に自立できる力を育てる地域と連携したキャリア教育の推進 【取組 10-2】学校の学習と社会とを関連付けた教育の推進【取組 10-3】キャリア形成に必要な教育の推進 【取組 10-4】地域社会の一員として主体的に参画する意識の向上



知識的側面		中 学 校	価値的・態度的側面		中 学 校	技能的側面	
地域の人材や題材を活用した学習を通して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した総合的な学習の時間の実施</li> <li>・中学生チャレンジウィーク</li> <li>・人生伝承塾の人材活用</li> <li>・「わたしたちの近江八幡」等地域教材を活用した学習</li> <li>・「沖島やまのこ」推進事業</li> <li>・総合的な学習の時間でのふるさと調べ学習</li> <li>・地域ボランティアを活用した体験学習</li> </ul>		地域の人や学校の友だちとの関わりを通して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した総合的な学習の時間の実施</li> <li>・中学生チャレンジウィーク</li> <li>・6年生を送る会等の学校行事</li> <li>・やまのこ・たんぼのこ体験学習</li> <li>・地域ボランティアを活用した体験学習</li> <li>・スクールガードさん等身のまわりの人との関わり</li> <li>・異学年交流</li> <li>・5・5交流等のつながり</li> </ul>		身のまわりの生活づくりへの参画を通して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した総合的な学習の時間の実施</li> <li>・伝えよう！熱い想いへの参加</li> <li>・中学生チャレンジウィーク</li> <li>・体育大会、運動会、文化祭等の学校行事</li> <li>・生徒会・児童会活動</li> <li>・縦割り活動等での役割</li> <li>・様々な教科での問題解決型学習</li> <li>・キャリアパスポートの活用</li> <li>・学級会、係活動等の学級活動</li> <li>・当番活動での役割</li> </ul>

## ＜就学前教育＞

「学びの芽生え」「自尊感情の育み」につながる家庭や園所・学校・地域の人との関わり、豊かな体験・遊び

上記以外のふるさと学習推進のための主な教育委員会・市長部局の事業・取組（例）

<b>学校教育課</b> 特色ある学校づくり推進事業 夫婦都市児童相互交流事業 <b>生涯学習課</b> 学校を核とした地域力強化事業 小中学校ふるさと学習担当者研修会（「ぶらり八幡」） <b>学校給食センター</b> 学校給食「はちまんの日」の実施	<b>スポーツ推進課</b> 総合型地域スポーツクラブ支援事業 スポーツ少年団活動推進事業 まちづくり協働課 多文化共生推進事業 各学区文化祭 <b>企画課</b> 沖島離島振興事業	近江八幡図書館・安土図書館 本のまち！動く図書館事業 近江八幡市歴史浪漫デジタルアーカイブ事業 図書館を使った調べる学習コンクール実施 <b>文化振興課</b> 歴史文化資産普及啓発事業 音楽振興事業 アートで広げる子どもの未来プロジェクト事業
--	--	---

本市の児童生徒の実態（R4全国学力調査児童・生徒質問紙より）

- ・地域行事に参加している児童生徒はある程度いるものの、自分から地域や社会をよりよくしたいとする意識が弱い。
- ・人の役に立ちたいという意識は高いが、難しいことでも失敗を恐れずに挑戦することは苦手を感じる児童生徒がいる。